



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年2月13日

上場会社名 日本山村硝子株式会社 上場取引所 東
コード番号 5210 URL <https://www.yamamura.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 山村 昇
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 杉本 雅美 TEL 06-4300-6000
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無: 無
決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	54,919	△4.6	3,960	18.3	4,649	22.1	3,817	38.0
2025年3月期第3四半期	57,581	3.3	3,347	△29.7	3,808	△43.2	2,766	△77.8

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 2,929百万円 (△12.8%) 2025年3月期第3四半期 3,358百万円 (△77.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	373.47	—
2025年3月期第3四半期	270.96	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第3四半期	93,256	55,355	59.8
2025年3月期	94,853	54,377	57.8

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 55,775百万円 2025年3月期 54,782百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	30.00	—	105.00	135.00
2026年3月期	—	75.00	—		
2026年3月期（予想）				75.00	150.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	74,000	0.9	3,300	6.2	3,900	21.3	3,000	8.2	293.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 無

④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期3Q	11,145,249株	2025年3月期	11,145,249株
② 期末自己株式数	2026年3月期3Q	923,935株	2025年3月期	923,075株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期3Q	10,221,888株	2025年3月期3Q	10,210,966株

（注）期末自己株式数および期中平均株式数（四半期累計）の計算において控除する自己株式数には、株式付与E S O P信託が保有する当社株式が含まれております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー： 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

上記の予想に関連する事項は、[添付資料] 3 ページ「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10

1. 経営成績等の概況

（1）当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、雇用・所得環境の改善等により緩やかに回復しましたが、物価上昇の継続に加え、金融資本市場の変動や米国の通商政策をめぐる動向等により、景気の下振れリスクが懸念されており、先行き不透明な状況が続いております。

このような中、山村グループでは3ヵ年の中期経営計画の最終年度を迎えました。「成長に向けた事業基盤の整備」をテーマとし、「財務基盤の整備」「既存事業を強化する仕組みづくり」「新しい事業を構築する準備」「循環型社会の実現に向けた開発」「従業員が誇りを持って働きたいと思える会社づくり」という5つの経営方針を推進し、グループ一体となって業績向上に取り組んでおります。

事業セグメント別の経営成績は以下のとおりです。

なお、当社グループでは、株主資本コストを上回るROEの確保を図り企業価値向上を目指す中で、より明確なモニタリングを行うため、第1四半期連結会計期間より、物流関連事業の一部をガラスびん関連事業に変更しております。また、前年同期比較については、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

① ガラスびん関連事業

ガラスびん関連事業では、国内ガラスびんの価格改定および品種構成の影響による販売単価の上昇、並びに製びん関連設備等の売上増加があったものの、国内ガラスびんの出荷量の減少等により、セグメント売上高は34,234百万円（前年同期比9.2%減）と減収となりました。セグメント利益は、製びん関連設備の売上増加やガラスびん販売単価の上昇、修繕費等の固定費の減少により、2,942百万円（前年同期比29.4%増）と増益となりました。

② プラスチック容器関連事業

プラスチック容器関連事業では、国内における飲料用キャップの出荷の増加や販売単価の上昇、中国での販売が増加したこと等により、セグメント売上高は6,652百万円（前年同期比4.1%増）と増収となりました。セグメント利益は、販売量の増加に伴い生産量が増加したこと等により、543百万円（前年同期比2.9%増）と増益となりました。

③ 物流関連事業

物流関連事業では、新規業務の増加や価格改定の実施等により、セグメント売上高は11,228百万円（前年同期比1.7%増）と増収となりました。セグメント利益は、増収による増益に加え、配送効率の改善によるコスト削減等により、653百万円（前年同期比19.3%増）と増益となりました。

④ ニューガラス関連事業

ニューガラス関連事業では、電子部品用ガラスや半導体向けガラスセラミックス製品等の出荷が堅調に推移し、また、価格改定効果もあり、セグメント売上高は2,668百万円（前年同期比15.6%増）と増収となりました。セグメント利益は、増収による増益効果やコスト削減等の損益改善により、376百万円（前年同期比91.4%増）と増益となりました。

その他事業では、植物事業の受注減少によりセグメント売上高は136百万円（前年同期比2.3%減）、セグメント利益は△172百万円の損失（前年同期は△82百万円の損失）となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の連結売上高は54,919百万円（前年同期比4.6%減）と減収となりましたが、連結営業利益は3,960百万円（前年同期比18.3%増）と増益となり、海外関連会社の増益により持分法による投資利益は829百万円（前年同期比91.1%増）となったため、連結経常利益は4,649百万円（前年同期比22.1%増）と増益となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は3,817百万円（前年同期比38.0%増）と増益となりました。

（2）当四半期の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ1,597百万円減少し、93,256百万円となりました。これは、受取手形、売掛金及び契約資産が1,416百万円、無形固定資産が684百万円増加したものの、現金及び預金が2,690百万円、有形固定資産が544百万円、為替換算調整勘定の影響で関係会社株式が501百万円減少したこと等が主な要因です。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ2,575百万円減少し、37,901百万円となりました。これは、有利子負債が3,262百万円減少したこと等が主な要因です。

純資産については、前連結会計年度末に比べ978百万円増加し、55,355百万円となりました。これは、為替換算調整勘定が1,295百万円減少したものの、利益剰余金が1,891百万円、その他有価証券評価差額金が366百万円増加したこと等が主な要因です。自己資本比率は2.0ポイント上昇して59.8%となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期における通期の業績予想につきましては、2025年5月14日に公表しました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,791	8,101
受取手形、売掛金及び契約資産	19,705	21,121
商品及び製品	7,002	7,075
仕掛品	405	459
原材料及び貯蔵品	1,714	1,782
その他	842	752
貸倒引当金	△52	△79
流動資産合計	40,409	39,213
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,396	5,171
機械装置及び運搬具（純額）	9,186	7,889
工具、器具及び備品（純額）	1,056	1,119
土地	10,415	10,415
建設仮勘定	285	1,200
有形固定資産合計	26,340	25,796
無形固定資産		
その他	441	1,126
無形固定資産合計	441	1,126
投資その他の資産		
投資有価証券	2,865	3,364
関係会社株式	21,901	21,400
退職給付に係る資産	774	710
繰延税金資産	1,094	769
その他	1,262	1,327
貸倒引当金	△235	△451
投資その他の資産合計	27,662	27,119
固定資産合計	54,444	54,042
繰延資産		
その他	0	0
繰延資産合計	0	0
資産合計	94,853	93,256

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,400	7,896
短期借入金	5,348	4,452
1年内償還予定の社債	1,142	1,142
未払法人税等	495	520
賞与引当金	806	369
役員賞与引当金	63	84
製品保証引当金	83	—
その他	4,095	4,457
流動負債合計	19,435	18,923
固定負債		
社債	857	785
長期借入金	16,167	14,244
リース債務	563	473
退職給付に係る負債	2,818	2,755
株式給付引当金	—	31
繰延税金負債	49	89
その他	584	597
固定負債合計	21,041	18,977
負債合計	40,476	37,901
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,074	14,074
資本剰余金	16,592	16,592
利益剰余金	22,369	24,260
自己株式	△1,530	△1,533
株主資本合計	51,505	53,395
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,104	1,470
繰延ヘッジ損益	108	68
為替換算調整勘定	2,513	1,218
退職給付に係る調整累計額	△449	△376
その他の包括利益累計額合計	3,276	2,380
非支配株主持分	△405	△420
純資産合計	54,377	55,355
負債純資産合計	94,853	93,256

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	57,581	54,919
売上原価	46,148	42,646
売上総利益	11,433	12,273
販売費及び一般管理費	8,086	8,313
営業利益	3,347	3,960
営業外収益		
受取利息	12	28
受取配当金	52	61
持分法による投資利益	434	829
その他	283	382
営業外収益合計	782	1,301
営業外費用		
支払利息	153	222
貸倒引当金繰入額	—	243
租税公課	64	66
その他	102	79
営業外費用合計	320	612
経常利益	3,808	4,649
特別利益		
固定資産売却益	3	—
投資有価証券売却益	128	175
関係会社清算益	57	—
特別利益合計	189	175
特別損失		
固定資産廃棄損	39	9
支払補償金	112	—
特別損失合計	152	9
税金等調整前四半期純利益	3,845	4,814
法人税、住民税及び事業税	549	761
法人税等調整額	501	226
法人税等合計	1,050	988
四半期純利益	2,794	3,826
非支配株主に帰属する四半期純利益	27	8
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,766	3,817

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	2,794	3,826
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	285	366
繰延ヘッジ損益	19	△40
為替換算調整勘定	△4	△125
退職給付に係る調整額	△45	△24
持分法適用会社に対する持分相当額	308	△1,072
その他の包括利益合計	564	△896
四半期包括利益	3,358	2,929
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,351	2,921
非支配株主に係る四半期包括利益	7	8

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自2024年4月1日 至2024年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	ガラス びん関 連事業	プラス チック 容器関 連事業	物流関 連事業	ニュー ガラス 関連事 業	計				
売上高									
顧客との契約から生 じる収益	37,703	6,392	10,479	2,307	56,882	139	57,022	—	57,022
その他の収益	—	—	559	—	559	—	559	—	559
外部顧客への売上高	37,703	6,392	11,039	2,307	57,442	139	57,581	—	57,581
セグメント間の内部 売上高又は振替高	36	289	69	7	402	0	402	△402	—
計	37,739	6,681	11,109	2,314	57,844	139	57,983	△402	57,581
セグメント利益 又は損失（△）	2,273	528	547	196	3,546	△82	3,464	△117	3,347

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、植物事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失（△）の調整額△117百万円には、セグメント間取引消去等111百万円、その他の調整△229百万円が含まれております。その他の調整は、報告セグメントに帰属しない全社費用と報告セグメントに計上されている営業外損益調整等です。

3. セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自2025年4月1日 至2025年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	ガラス びん関 連事業	プラス チック 容器関 連事業	物流関 連事業	ニュー ガラス 関連事 業	計				
売上高									
顧客との契約から生 じる収益	34,234	6,652	10,662	2,668	54,217	136	54,353	—	54,353
その他の収益	—	—	566	—	566	—	566	—	566
外部顧客への売上高	34,234	6,652	11,228	2,668	54,783	136	54,919	—	54,919
セグメント間の内部 売上高又は振替高	15	300	83	7	406	1	408	△408	—
計	34,249	6,952	11,312	2,675	55,190	137	55,327	△408	54,919
セグメント利益 又は損失（△）	2,942	543	653	376	4,516	△172	4,344	△383	3,960

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、植物事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失（△）の調整額△383百万円には、セグメント間取引消去等109百万円、その他の調整△492百万円が含まれております。その他の調整は、報告セグメントに帰属しない全社費用と報告セグメントに計上されている営業外損益調整等です。

3. セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループでは、株主資本コストを上回るROEの確保を図り、企業価値向上を目指しております。この目標達成に向けて、より明確なモニタリングを行うため、管理方法を見直しました。今回の変更を適切に反映するために、第1四半期連結会計期間より、物流関連事業の一部をガラスびん関連事業に変更しております。また、調整額に含まれていた全社資産の一部を、各事業セグメントの資産に配分しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分により作成したものを記載しております。

3. 報告セグメントごとの資産に関する情報

第1四半期連結会計期間においてセグメント区分を変更したことにより、変更後の区分によって作成した前連結会計年度末のセグメント資産の金額は、ガラスびん関連事業において7,848百万円の増加、プラスチック容器関連事業において1,905百万円の増加、物流関連事業において2,811百万円の減少、ニューガラス関連事業において1,115百万円の増加、その他事業において22百万円の増加、調整額において8,080百万円の減少となっております。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却額を含む。）は、次のとおりです。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	2,835百万円	2,739百万円